

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻（博士課程）						
教育プログラム・コース名	包括的がん専門医療人養成コース						
対象者	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻）大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児・AYA世代・壮年・高齢者といったライフステージに応じたがん対策を行えるがん専門医療人</li> <li>・在宅医療を認識し緩和医療を推進できるがん専門医療人</li> </ul>						
修了要件・履修方法	本教育プログラム・コースで定める科目について，必修科目8単位・選択科目24単位以上，計32単位以上を履修する。						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt; 集学的がん治療学特論（3単位），集学的がん治療学実習（2単位），在宅・地域医療実習（1単位），緩和医療実習（1単位），研究支援科目（8単位），論文研究（8単位）等</p> <p>&lt;選択科目&gt; 研究支援科目（6単位以上）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	小児科や産婦人科，緩和ケアセンター等を含めた診療科横断的な連携，さらには薬剤師・看護師・理学療法士等の多職種連携に基づいて教育を行う。また，在宅医療で先進的取り組みを行っている長崎市医師会Dr ネットの協力のもと実習を行うことで，在宅医療を理解，推進できる医療者の育成が可能である。						
指導体制	大学院医歯薬学総合研究科の教員，研究員 大学病院のがん専門薬剤師，がん看護専門看護師，がん関連認定看護師，理学療法士，MSW等 長崎市医師会Dr ネットの在宅医療医師						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	ライフステージに応じたがん対策を推進でき，また在宅医療や緩和医療の知識を習得すことで，大学病院や地域拠点病院等のがん診療を行う医療機関において中心的役割を担う。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	0	3	3	3	3	12
	歯科医師	0	1	1	1	1	4
	薬剤師	0	1	0	1	0	2
							0
	計	0	5	4	5	4	18